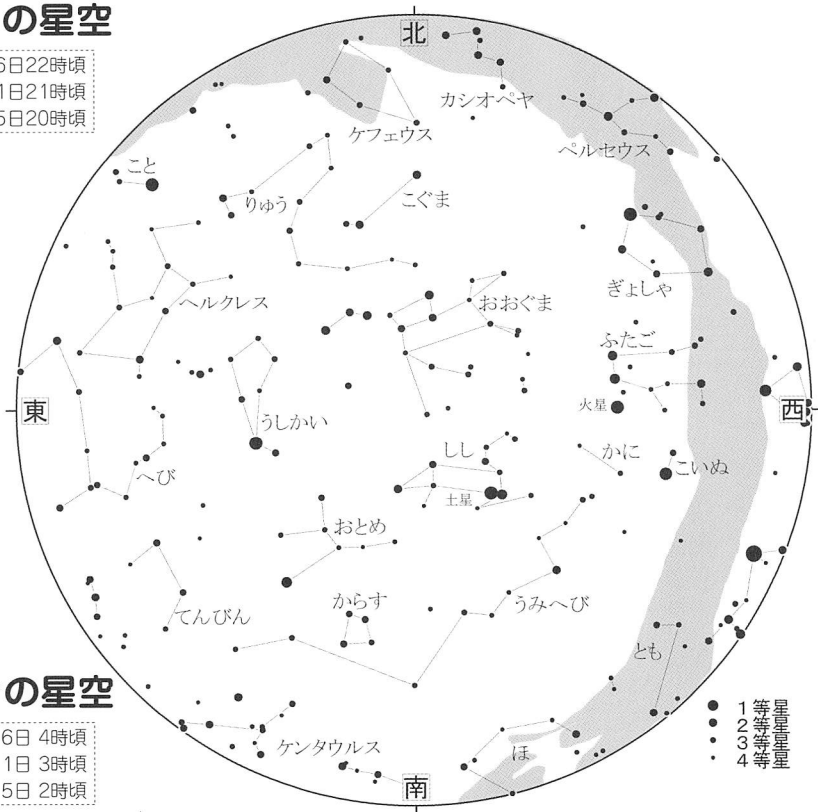




★星空ガイド 4月16日～5月15日

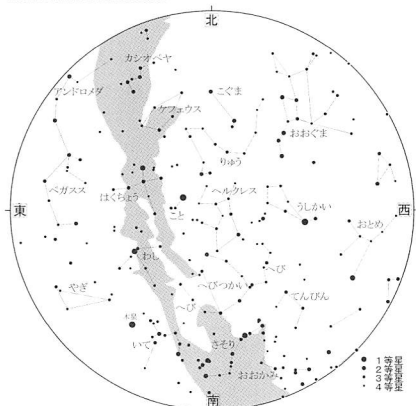
よいの星空

4月16日22時頃
5月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

4月 16日 4時頃
5月 1日 3時頃
15日 2時頃



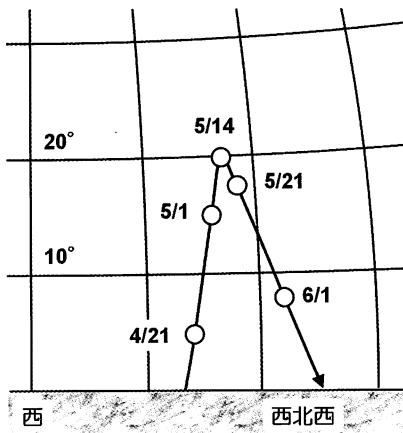
〔太陽と月の出入(大阪)〕

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
4	16	水	5:25	18:30	14:40	3:04	10.0
	21	月	5:19	18:34	19:34	5:14	15.0
	26	土	5:13	18:38	--:--	8:47	20.0
5	1	木	5:07	18:42	2:17	13:57	25.0
	6	火	5:02	18:46	5:02	19:57	0.6
	11	日	4:58	18:50	10:24	--:--	5.6
	15	木	4:55	18:54	14:33	2:00	9.6

※惑星は2008年5月1日の位置です。

＜水星が東方最大離角＞

5月14日に水星が東方最大離角となります。これは太陽を基準に見て、水星が最も東側に離れて見えるという意味です。水星は太陽系の惑星の中で、一番内側で太陽に近いところを回っています。そのためいつも太陽のそばにあり、なかなか実際に見ることができません。5月14日の東方最大離角のころは、太陽から一番離れて見えるため、この前後数日間は大空で水星を観測するチャンスとなります。



日没時の水星の位置(大阪)

そうは言っても、この時期でも水星の日没時の高度は20度ほどしかありません。水星は0等級程度でかなり明るいですが、それでも太陽が沈んだ直後では空が明るすぎて見えません。逆に日没後、時間が経ちすぎると、水星の高度はどんどん低くなってしまいます。日没後、30分から1時間後ぐらいのわずかな間が、観測が可能な時間となります。5月14日の大阪の日の入りの時刻は18時53分です。夕方の19時半ごろ、西の空が開けた場所で観測してみましょう。

＜こと座流星群・みずがめ座η流星群極大＞

4月22日ごろに、こと座流星群が極大を迎えます。残念ながら満月過ぎの月があるため、観測条件はあまり良くありません。また5月6日頃にはみずがめ座η流星群が極大となります。輻射点が昇るのは午前2時くらいなので、明け方に観測できます。こちらは月がなく、好条件です。いずれの流星群も期待される流れ星の数は1時間に数個程度です。

【こよみと天文現象】

月	日	曜	主な天文現象など
4	16	水	水星が外合
	17	木	土用の入り
	20	日	○満月(19時)/穀雨
	22	火	こと座流星群極大
	23	水	月が最遠 月とアンタレスがならぶ
	27	日	月と木星がならぶ
	28	月	●下弦(23時)

月	日	曜	主な天文現象など
5	5	月	●新月(21時)/立夏
	6	火	みずがめ座η流星群極大 月が最近
	10	土	月と火星がならぶ
	12	月	●上弦(13時) 月と土星がならぶ
	14	水	水星が東方最大離角

江越航(科学館学芸員)